



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第3号

令和7年4月28日(月)発行

文責: 校長 川上徹行



勝田三中HP

授業参観・PTA総会・学年学級懇談会、お世話になりました。

本日はご多用の中、多数の保護者の方々にご来校いただき、ありがとうございました。生徒たちに、充実した学校生活を提供するために重要な、PTAの諸活動や予算が承認され、実質的に令和7年度をスタートさせることができました。「至誠 勤勉 協和」の校訓のもと、更なる教育活動の充実を図ってまいります。保護者の皆様のご後援を今後ともよろしくお願いいたします。(以下は私が総会で話した学校経営方針の要点です。)



令和7年度の教育方針と取組について (要点)

本校の生徒たちは、2030年代中盤以降の社会で活躍する「未来の人財」です。社会が加速度的に変化する中、「指示通りにできる」「正解を覚える」だけでは不十分な時代となっています。これから子供たちには「自律」の力(=他者と適切に関わりながら自分で考え、判断・行動する力)が求められます。自律的な学びを育むため、本校は以下のようないくつかの方針で教育活動を進めてまいります。

1. 学力の向上と主体的な学び

基礎基本の学習とともに、汎用的に活用できる力の育成を重視。

探究的な学びを通して、学ぶことへの肯定的な自尊感情を引き出します。

定期テストから単元テストへの移行により、「わかる・できる」の実感を大切にします。

AIドリルの活用を5教科授業で本格導入中。次年度には全学年で展開予定です。

2. 心理的安全性の確保と協働の力の育成

一人一人が活躍できる場を設定し、対話や協働の中で互いを尊重する力を育てます。

生徒会主導の行事や交流活動を通して、「群れる感覚(共同体感覚)」を養い、相互理解・多様性の尊重を学びます。

3. 自律を支える環境づくり

助言を受けながら最終的には自分で決定する力の育成を重視。

「自分は大切にされている」と感じられる安心感のある環境を整えます。

Σ(シグマ)検査やこども支援アプリを活用し、一人一人に応じた継続的な支援を実施します。

4. 教職員の学びと働きがい改革

教職員自身も積極的に学び、子供たちのロールモデルとなることを目指します。

校務効率化の取組として以下の変更を実施: 45分授業の導入、部活動時間の維持

授業時数の確保策として、以下の調整を行う: 年度始め6時間、定期テスト→単元テスト20時間、夏休み中の総合学習12時間、学校訪問日等で授業カットは実施しない: 6時間 → 年間合計44時間の確保により、市内他校よりも授業時数が確保できます。

5. 地域と家庭との連携

歴史と伝統のある本校の人的・物的資源を生かし、子供たちに多様な経験を提供。

地域や保護者の皆様のご協力により、子供たちの安全や成長を支えています。

部活動支援、登下校の見守り等にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

情報発信はH&Sアプリや学校ホームページにて行ってまいりますので、ご確認をお願いします。

【活動の様子 4月9日(水)~】入学式後の片付けを頑張る生徒たちや縦割交流活動、その他

